

LANで広がる世界



藤崎 雅行氏

55台でも足りない

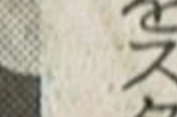
導入8年今は自在

教材データの宝庫

桜 加 出

本校にはコンピュータ教育を進める三本の柱があります。コンピュータが入ってきたとき、一番に想像するのがプログラム学習を基礎としたチュートリアル型のCAIの授業です。もう一つの柱は、プログラミング言語のロゴを

示資料として教師主導で扱ったり、児童のグループ活動を



出口 和生氏

教材データベース構築の研究
をスタートさせたわけです。

ネットが組まれているのですか。

松谷 いえ、今年度は五年計画の初年度であり、二十一校に端末を設置してすすめています。しかし、財政事情により五年計画も延びる可能性があります。

平沢 やはりどういう場面
で使うかが一番重要でしょう
から、チュートリアル型が古
いなと言ったことはないし、
コンピュータをどういう目的
で使うのかをはっきりさせる
のが大切なのでしょう。

出口 私の学校でも、初め

教科に上手な利用増える

「思考・創造型」に多様化

対応の姿勢

平沢 みなさんのお話を聞
きまして本町小、田中北小、
川崎市のおよその取り組みが
つかめてきたように思いま
す。

さて、今日のテーマは「こ
れからのコンピュータ教育」
です。

いろいろな問題は指摘されて

いるにせよ、学校の中にパソコンがごく自然と入り込む時代がきつ々あると感じています。例えば最近おもしろかったです。例えば生活科は直接体験を重視しますから、およそパソコンとなじみにくいという考え方があります。ところが生活科に一生懸命に取り組んでいる

ここではとりあえずマルチメディアをパソコンで多様な視覚系統——言語、画像、音声を統合的に取り扱うコンピュータと考えて、話しを進めていきたい。

ていますか。

加藤 教材研究をかなりしている。この授業で何を子どもたちに理解してもらうかをきつめて考えています。そこでは一つの自作したソフトで全部かかってもらうという

平沢 教科の中ではどんな使い方をされていますか。

出口 特別にカリキュラムの中にコンピュータの使用を位置づけてはいません。一人ひとりの先生、子どもがこころはコンピュータがよいと思う分野で自由に使おうという考え方。つまり全教科のあらゆる

桜谷 昭夫氏

平沢 千葉県旭市が以前から画像データベースを学校に活用しているが、具体的に力にキュラムのどこで？と聞かれても答えが出ない使い方をしてる学校です。

通言の幾能

ネットワークを通じて文字と写真、音声で自分の国を紹介してもらいました。受け手の中学校では、グループで画面の写真、英文、流れてくる英

に送る取り組みをしています
が、おそらく川崎のものを含
めてまだわずかなのでしよ
う。ただ、可能性としてはい
ろんなことができそうな新し

文字と音声・画像 一体の教材支援

川崎市のネットワーク

と共同研究をしました。その中の一つの中学校で、子どもたちが端末を利用してセンタ―にアクセスし、そこで、センタ―にいる語学指導助手に

を学習する意欲づけができた
と思ひます。

平沢 通信による先生方へ
の教材提供の支援、また子ど
もたちを広い立場で刺激して

今度、文部省と通産省がすすめている「インターネット百校プロジェクト」事業が動き出せば、そうした利用がもっと増えていくだろうと思

子どもたちにいろんなものを
作らせる、まとめるためにコン
ピュータを利用するという
新しい使い方が出てきたのだ
ろうと思います。

